

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営かんがい排水事業		路河川名等				
事業毎の通番		1	市町村名	飯綱町	箇所名(ふりがな)	芋川(いもがわ)		
事業概要	事業目的	芋川用水は、飯綱町の286haの農地をかんがいする重要な基幹的用水路であり、S47～48年度に非補助土地改良事業、S55～H10年度に県営かんがい排水事業、H11～21年度に県営農業用水再編対策事業により整備されてきた。現在、施設の老朽化が進み、S48年に整備された水路トンネルにおけるクラックの発生や、H元年に整備された上流側用水路における水路底盤の劣化が著しい状況となっている。 このため、施設の機能保全計画に基づく長寿命化により、農業用水の安定供給を図りたい。また、ゲートの自動・電動化及び農業用水を活用した小水力発電設備の整備により、維持管理に係る労力やコストの負担軽減を図りたい。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	2-4収益性と創造性の高い農林業の推進(多様な技術の活用による効率的な経営の促進)		事業実施の根拠法令等		土地改良法		
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次長野県土地改良長期計画 飯綱町 田園環境マスタープラン、第2次飯綱町総合計画、飯綱まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積 : 286ha 受益戸数 : 421戸						
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間		事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	1.5		国庫	その他	県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	水路トンネル補強工L=300m、用水路補修工L=150m 小水力発電設備N=1箇所、ゲート自動化N=2箇所				400,000	200,000	100,000 90,000 10,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物の生産性向上、地域エネルギーの活用						
	間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の発生防止、農業集落の定住促進						
評価の視点	必要性	○受益戸数 : 421戸 ○受益農地面積 : 286ha ○地域用水機能 : 防火用水、生活用水、生態系保全型水路					評価	A
	重要性	○用水不足、排水不良 : 受益の100%に影響 ○関連計画、重点施策との整合 : 第2期食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、第2次飯綱町総合計画他 ○人・農地プラン : H25作成済 ○日本型直接支払制度 : 多面的機能支払の取組あり(芋川区保全活動協議会)					評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 1.46 ○事業期間 : 5年(H30～34) ○工法比較検討 : 機能保全計画策定済み					評価	A
	緊急性	○近年の自然災害 : 近年5年に3回(H25.26.27に、豪雨による水路法面崩壊被害) ○用水の状況 : 既存施設の老朽化により補修、補強が必要					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 施設管理者へ水路の現状、対策について説明済み ○地域の取組み : 施設管理者から事業要望あり ○地域の合意形成 : 施設管理者との合意形成が図られている ○住民との協働 : 多面的機能支払活動組織が水路維持管理や農地の保全活動を実施					評価	B
	部局意見	水路トンネルの経年劣化に伴う崩落により農業用水の供給に支障をきたしているため、必要性・重要性が高い。				採択状況	○	総合評価 A
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。							

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

県内位置図

位置図

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区の用水路は、昭和48～平成21年度に県営かんがい排水事業等により整備されたもので、S48年に整備された水路トンネル、H元年に整備された上流側用水路の劣化が著しく、安定した用水供給に支障を来す恐れがあり、早期改修の必要が生じている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元は芋川隧道の経年劣化に伴う崩落や、摩耗による水路倒壊に伴う用水の供給への支障について不安視しており、施設の改修要望がある。
③事業説明等の経緯	施設管理者と事業内容についての調整が図られている。今後、地域住民等を対象に説明会を開催し、事業内容等について調整し、合意形成を図る予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画及び第2次飯綱町総合計画に基づき、農業用水施設の補修、補強を行うことで、農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	芋川用水は農地への用水供給だけでなく、流域の生活用水、防火用水、ホテルを主とする生態系保全用水としての役割も担っている。そのため事業計画に当たっては、工事期間中の濁水防止、仮設パイプの設置による用水の確保等、利用に支障を来さないよう配慮している。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、施設の長寿命化対策を行うことにより、地域の農業生産の維持と農業経営の安定が図られる。
⑦その他	芋川用水は、旧三水村の村名の基となった歴史ある用水路であり、地域住民の生活に密接に関連している。

隧道内部クラックの発生

噴水状況

水路底盤洗掘による鉄筋露出

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 77' 40"
	東経:E 138° 24' 01"